自由民主党 **衆議院議員**

# 月刊 さいとう健

**臨時号**
**平成24年9月19日発行**

## 「竹島、尖閣、北方領土」

**≪ ミニプロフィール ≫**

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。
大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。
零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。
日米交渉や行政改革、地方行政（埼玉県副知事に出向）などに携わる。
平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。
平成21年衆議院総選挙において、比例南関東ブロックで初当選。
現在、党政務調査会会長補佐・シャドウキャビネット（影の内閣）の総理補佐官として活動中。
〔趣　味〕読書、カラオケ、ハンドボール
〔好きな食べ物〕ラーメン、焼肉（特にカルビとハラミ）


**さいとう健　後援会事務所**（千葉銀行おおたかの森支店裏）
〒270-0137　流山市市野谷665-40-103
TEL：04-7157-6223　FAX：04-7157-6224
E-mail : info@saito-ken.jp
**さいとう健　国会事務所**
〒100-8981
千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室
TEL：03-3508-7221　FAX：03-3508-3221


尖閣諸島の国有化を契機に、日中関係が緊迫してきました。
国有化が正しい選択だったか、あるいは、国有化のプロセスが適切であったかについては、さいとう健は、疑問をもっておりますが、いずれにせよ、中国国内での日本企業や日本人が襲撃されるというのは許されざることであり、尖閣諸島には１０００隻もの中国漁船が向かっているとの情報もあります。

今一度、この背景を考えてみますと、大きくは、極東に大国の力が集中し始めているという国際情勢の変化があります。
そもそも尖閣諸島の領有権を中国が主張し始めたのは、１９７０年代に入ってからであり、海洋資源が豊富にあるということが確認されたからであります。今や、中国にとりまして資源エネルギー確保は政権の死活問題です。
また、ロシアは、欧州への天然ガスの販売が２割以上減少し、さらに価格も大幅ダウンするという状況の中で、東にその活路を求めてきています。今回のアジア太平洋協力会議（ＡＰＥＣ）で合意されたウラジオストックでのＬＮＧプロジェクトは、まさにそういう流れの中で出てきている話です。
いわば、力の政治をお家芸とする中国、ロシアといった二大国が同時に、日本近海、極東に力点を置き始めているわけで、結果として、中露の間でも緊張が高まってきています。
尖閣や北方４島をめぐる最近の動きは、小さな島をめぐる小競り合いというものではなく、こうした大きな構造変化の中で起こっている、根が深い話であります。

こういう動きに対抗していくためには、何と言っても日米の強固な連携が不可欠です。
竹島も尖閣も、歴史的経緯からみても法的根拠をみても、いずれも日本に正当性はあるものの、実際に牽制する力を持つのはアメリカの関与であります。
振り返ってみますと、竹島は、サンフランシスコ講和条約締結の際、韓国がその領有を主張したものをアメリカが拒否したという事実が、ものを言っております。尖閣についても、日米安保条約の適用地域であるというアメリカの発言こそが、中国を最も牽制するものとなっていることは容易に想像がつきます。

このような国際社会の現実を見たとき、まずは、民主党政権の下で大きく傷ついた日米協調をいかに再構築していくかが極めて重要であります。
その上で、日本自らが毅然とした対応を取っていかねばなりません。久方ぶりの日本外交の正念場です。

まずは、尖閣に向かっているという１０００隻の漁船に対しては、あらゆる手段を講じてもその上陸は阻止するという強いメッセージを日本政府は発すべきだと思います。すべてはそこから始まります。

これまでと違って人数が多いので、一度上陸を許してしまうと居座られてしまう可能性があります。そうなると事態解決は極めて厄介になります。ですから、大人数の上陸は絶対に阻止しなければなりません。

強いメッセージを発してもなお、上陸を図ろうとする者に対しては、断固排除しなくてはなりません。大変残念ではありますが、中国サイドが強行上陸を仕掛けてくる以上、仮に流血の事態になったとしても、一度はぶつからなくてはなりません。そうしないと、どんどんつけこんでくるというのが歴史の教訓です。一触即発の事態となるのもやむをえません。

その上で、アメリカを仲介に引きずりこむ、これしか、この問題を落ち着かせる方法はないと思います。

できることならば、中国には大人の対応を望むものの、過去の中国のやり方を見ても、その可能性は極めて小さいので、我々も覚悟を決めなくてはならないと思います。

## 〈さいとう健の写真活動報告〉

敬老の日、皆様と一緒に催し物を楽しみました。
高齢者3000万人のパワーをもっと活用すべきです。

女性の集いに参加。女性の元気な地域は地域全体も明るい雰囲気に包まれています。

夏に行われる餅つきに参加。しかし、餅をつく前に園児たちに取り囲まれてしまいました。

浴衣姿に着飾った子供たちと一枚。小金宿まつりが終わると秋の足音が聞こえてきます。

メルマガさいとう健
名前・住所の登録不要。
月刊さいとう健では伝えきれない内容満載。
返信すれば匿名で意見を伝えられます。
http://www.saito-ken.jp/info/melmaga.html

討議資料

やっぱり、この男に！